

令和6(2024)年度 学生募集要項 社会人入試

目 次

受験するみなさんへ	1
アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）	2～5
趣旨／入学者選抜の基本方針／募集人員／出願要件	6
選考日程／時間割	7
選考方法	8
出願手続／出願上の注意事項	9
コンビニエンスストアでの入学検定料の納入方法	10
電算入力票（A～C票）の記入例と注意点／記入上の注意事項	11
受験票の交付／試験当日の注意事項	12
試験場／合格発表	13
入学手続	14
入学手続時納入金・学費等	15
家政学部食物学科食物学専攻・短期大学部家政科食物栄養専攻を受験する方へ	16
入学予定者への課題・プレイスメントテストについて／ 入学後について／履修地／災害により被災した入学志願者に対する特別措置について	17
キャンパス配置図／受験時の宿泊案内	18
キャンパス案内（試験場）／問い合わせ先	裏表紙

記載されている日程および選抜方法に変更が生じる場合は、随時本学ホームページでお知らせします。



大妻女子大学
大妻女子大学短期大学部

受験するみなさんへ

この募集要項には、入学試験、合格発表、入学手続に関する重要事項が記載されています。

大学案内、入試ガイドをお持ちでない方へ

大学案内2024、入試ガイド2024をお持ちでない方は、本学ホームページの資料請求ページから、お取り寄せください。無料でお送りします。

なお、同ページの電子ブックでもご覧になれます。

個人情報の取り扱いについて

提出いただいた出願書類により得られた個人情報は、出願書類に関する問い合わせ、本学の入学者選抜および合否に関する連絡、統計調査を行うために利用し、他の目的で利用することはありません。

なお、個人情報のデータ処理等については、外部に業務を委託することがありますが、その際は本学が責任をもって監督・管理いたします。

不測の事態が起きた場合の対応について

不測の事態が起きた場合の対応は、本学ホームページよりお知らせします。

大妻女子大学ホームページ <https://www.otsuma.ac.jp/>

問い合わせ窓口 広報・入試センター（千代田） tel. 03-5275-0404

学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（新型コロナウイルス、インフルエンザ、麻疹、水疱瘡等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染のおそれがありますので、原則として受験をご遠慮願います。ただし、病状により医師において伝染のおそれがないと認めた場合は、この限りではありません。

■ アドミッション・ポリシー（入学者の受入れに関する方針）

※「知識および技能」にある科目のすべてを履修していなければ出願できないというわけではありません。

大妻女子大学

大妻女子大学は、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 深く幅広い知識・教養及び専門的知識・技術を修得し、考察を深めるための基礎的な学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 自らの人生を積極的に考え、豊かな実りある将来を築きたいという意志を持っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1)コミュニケーション力を磨き、主体的かつ創造的に問題の解決に取り組む意欲を持っている。
(2)人々の幸せやより良い社会の実現に寄与したいという意欲を持っている。

家政学部

家政学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 大学での学問の出発点をなす、しっかりした基礎学力を持っている。
2. [思考力・判断力・表現力等] 生涯を通じて、個人と家庭の生活、社会の改善を考え、行動していきたいと思っている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1)人間の生活のあり方とその改善に強い関心を抱き、そのために主体的に学ぼうとする姿勢を有している。
(2)他の人々との協力、協働、社会的連帯ができる能力を持っている。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

被服学科	被服学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)入学後の修学に必要な基礎学力としての知識や実技能力を有している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)物事を多面的かつ論理的に考察することができる。 (2)自分の考えを的確に表現し、円滑に伝えることができる。
食物学科 食物学専攻	食物学科食物学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2)読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
食物学科 管理栄養士専攻 ※管理栄養士専攻は令和6年度社会人入試の募集はありません。	食物学科管理栄養士専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)専門科目の基礎学力となる化学、生物、家庭一般に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。 (2)読解力の基礎学力となる国語、英語に関する教科について、高等学校で学習した内容を理解している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	聞く・話す・読む・書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。
児童学科 児童学専攻	児童学科児童学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	(1)子どもを巡る問題に気づき、自分なりの考えを持つことができる。 (2)他者の考えを理解した上で自分の考えを整理し、論理的に考察し他者に伝えることができる。
児童学科 児童教育専攻	児童学科児童教育専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	高等学校段階までに習得すべき各教科等の知識・技能の評価規準が満足する状況に達している。
	2. 思考力・判断力・表現力等	習得している知識・技能を働かせて、子どもを巡る問題を見出し、解決の方策を工夫しながら自分なりの考えをもち、それを他者に分かりやすく表現することができる。
ライフデザイン 学科	ライフデザイン学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)高等学校の教育課程を幅広く修得し、特に「国語総合（現代文）」と「英語」の基礎学力をしっかりと身につけている。 (2)高等学校までの学習や諸活動を通じて、聞く・話す・読む・書くというコミュニケーションの基礎的な能力を身につけている。
	2. 思考力・判断力・表現力等	生活に関わる様々な出来事や現象について、人の意見に流されず、自分で考え、自分なりの意見を持つことができ、それを表現できる。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	
	(1)本当に豊かな生活とは何かについて考え、実践する意欲を持っている。 (2)家族関係や地域の間人間関係に関心があり、人と人との温かな交流を促進する意欲を持っている。 (3)生活の中の美に興味があり、美しい暮らしを提言する意欲を持っている。 (4)人間生活と自然環境の調和に興味があり、自ら実践し社会に提言する意欲を持っている。	

文学部

文学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。
2. [思考力・判断力・表現力等] (1)人間と言葉に関する事象を考察し、自らの判断を下すことができる人。
(2)自分の知識や意見を表現し、他者と情報を交換することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 人間と言葉に関する未開拓の領域を、主体的に究明しようとする人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

日本文学科	日本文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)日本文学や日本語の歴史を理解し、日本社会や日本語の持つ個性と多様性を知ることにより、現代に生きる私たちに必要な知識の習得に努めるとともに、日本語運用能力やプレゼンテーション能力の進展を図ろうとする意欲を持つ人。 (2)入学までに、「古典A」「古典B」「現代文A」「現代文B」などの科目を履修し、日本文学史の大きな流れと日本語の特質などについて理解しようとしている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	自分とは異なる立場や意見の人々に対する知的寛容さや柔軟性を兼ね備えた判断力と思考力を持ち、それらを基盤として他者に向かって発信できる表現力・コミュニケーション能力を高める意欲を持つ人。 日本文学や日本語の普遍性を理解し、豊かな情操を育成しながら、みずからの心の支えを主体的に得ることで、自立した女性として将来への大きな力を養おうとする目的意識を持つ人。
英語英文学科	英語英文学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	英語の4技能（Speaking, Listening, Reading, Writing）全般の基礎的な力をそなえ、人間と言葉について、基礎的かつ本質的な知識と技能を有している人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)高校までの英語学習を通して、人間・言葉・社会に関する事象に問題意識を持ち、筋道を立てて考え、それを説明することができる人。 (2)他者の意見を理解し、自身の知識や意見を的確に表現することで、他者と情報を交換することができる人。 英語圏の文学・英語学・英語教育学・英米文化のいずれかの領域に関心があり、人間・言葉・社会に関する問題を、主体的に究明しようとする人。
コミュニケーション文化学科	コミュニケーション文化学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)入学後異文化やメディア等について深く学修するために必要となる高等学校卒業相当の基礎的な知識と技能を修得している人。 (2)高等学校までの履修内容のうち、日本語及び英語の基礎的能力（聞く、話す、読む、書く）を正確かつ十分に修得し、コミュニケーションに役立てることができる人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	日常的に新聞、放送メディア、インターネットなどのメディアに接し、国内外の社会の動きに関する知識や情報を積極的に集め、課題を発見した上で、自分の考えを的確に表現できる人。 (1)日本や世界に対する幅広い知的好奇心を持ち、他者と協同して主体的に学ぶことができる人。 (2)大学を卒業後、修得した知識・技能や能力を積極的に社会で役立てたいという意志を持っている人。

社会情報学部

社会情報学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1)大学での修学に必要な、基礎的な学力を有し、社会、環境、情報を理解するための知識及び技能を獲得したい人。
(2)自らの考えを他者に的確に伝える技能と表現力を有する人。
2. [思考力・判断力・表現力等] 基礎的な学力をベースに、主体的かつ創造的に、社会、環境、情報の各課題を論理的に分析し解決することのできる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 社会、環境、情報に興味・関心があり、自ら進んで意欲的に学び、卒業後、社会に積極的に貢献したい人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

社会情報学科 社会生活情報学専攻	社会生活情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)社会の動きや生活のあり方を理解するための広く深い知識を有し、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を身につけたい人。 (2)高校での社会科・国語科の科目への関心（履修）に留まらず、日頃から社会問題や情報、文章表現等への高い関心を持ち、積極的に読書や情報収集を行なっている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	社会科学やメディアの活用法を学び、社会問題に対する思考と判断力を養い、その帰結としての問題解決への方策を表現する力を獲得したい人。 社会において幅広く活躍するために、大学での学びから得た知見と情報リテラシーを基に、社会の諸事象への関心と分析力、コミュニケーション力を高めることに意欲的な人。
社会情報学科 環境情報学専攻	環境情報学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)入学後の修学に必要な基礎的な知識を有し、環境を理解するための情報収集能力、文章の読解や発表のための思考力、そして討論のためのコミュニケーション力を身につけたい人。 (2)高校での環境に関わる科目（社会科・理科など）の履修に留まらず、日頃から環境への高い関心を持ち、積極的に情報収集を行い、自らの考えを他者に伝える技術と表現力を高めることを心がけている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	自然科学や社会科学の視点から環境について複合的に学び、環境問題に対する思考と判断力を養い、問題解決への方策を論理的に表現して、エコライフを実践したいと考えている人。 エコライフを実践するために、社会や自然のしくみを学んで得た知見と環境情報リテラシーを基に、将来、暮らしを中心とする身近な環境を意欲的にデザインしたい人。
社会情報学科 情報デザイン専攻	情報デザイン専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	高等学校で履修する「数学」「理科」「国語」「英語」「地理歴史」「公民」の複数の科目あるいはそれらと同等レベルの学修内容について幅広く理解し、基礎的な学力を身につけている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)論理的な思考を深めて総合的に判断できると共に、自ら課題を見いだし、情報を的確に読み取りながら、自らの考えに基づいて行動できる人。 (2)自らの考えを効果的に伝える技能と表現力を有する人。 情報とデザイン及び情報とシステムに興味・関心があって自ら進んで学習する意欲を備えると共に、ボランティアや各種コンテストなど様々な活動に自主的かつ継続的に参加した実績を持つ人。

人間関係学部

人間関係学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] 大学での学びに必要となる、高等学校卒業相当の基礎学力を身につけている人。
2. [思考力・判断力・表現力等] 問題を多角的にとらえ、創造的・論理的に考えることができ、他人の意見を聞き理解し、自分の意見を表明することができる人。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] (1)人間や社会に対して幅広く深い興味を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする人。
(2)学内・学外での学びや活動に意欲と関心を持ち、意見や関心が異なる人たちとも協力しながらやり遂げることができる人。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

人間関係学科 社会学専攻	社会学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に大学の授業で必要となる、文章の読解、発表や討論、レポート作成のための日本語能力の基礎となる「国語」の学力がある人。 (2)高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に社会学を学ぶ上で必要となる基礎的な教科の「地理歴史」「公民」の学力がある人。 (3)高等学校卒業までに十分な基礎学力を身につけていて、特に社会現象をグローバルな観点から関連付け分析するために必要な「外国語」の学力がある人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	課題を多角的にとらえ、創造的に考える意志を持っている人。 (1)人間や社会に対して幅広い興味を持ち、積極的に問題解決を図ろうとする人。 (2)大学で学ぶことに意欲を持っていて、意見や関心が異なる人たちとも柔軟に協力していける人。
人間関係学科 社会・臨床心理学専攻	社会・臨床心理学専攻では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)心理学の専門的知識と技能を学ぶために必要となる、高等学校卒業相当の知識と基礎学力を幅広く身に付けている人。 (2)高校までの履修内容のうち、文章読解、文章（レポート）作成、プレゼンテーション、ディスカッションの基礎となる日本語能力と外国語の基礎力を身に付けている人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)社会の様々な問題について、数学（特に統計に関する知識および技能）を用いて科学的に分析・解明していく判断力や論理的思考力を身に付けている人。 (2)グループ学習や課外活動、ボランティア活動の経験があり、集団や組織の中で自分の意見を的確に表現する力と、異なった考え方の人とも協力しながら課題をやり遂げることができる人。 人間や社会に対して広く深い興味関心を持ち、人間関係と心理学の専門的知識・技能を生かして社会に貢献したいという意欲を持っている人。
人間福祉学科	人間福祉学科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。	
	1. 知識および技能	(1)大学の授業に必要な、高等学校卒業相当の「国語」、「英語」の学力がある人。 (2)社会福祉を学ぶ上で、高等学校卒業相当の「地理歴史」又は「公民」の学力がある人。
	2. 思考力・判断力・表現力等 3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	文章での表現力、読解力及び記述力を持ち、他人の意見を聞き理解し自分の意見を表明することができる人。 (1)身近に発生している福祉に関する問題について深い関心を持ち、その解決に向けて取り組む意欲を持つ人。 (2)学校での学習や課外活動等において、他の人と協力しながら主体的に参加し、課題をやり遂げることができる人。

比較文化学部

比較文化学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

比較文化学科	1. 知識および技能	(1)外国語と外国の歴史や文化についての知識（具体的には「国語」「英語」を基本に外国文化と日本文化を比較するための基準となる「世界史」「日本史」の知識）を持っている。 (2)基本的な語学力と論の構成力を持っている。
	2. 思考力・判断力・表現力等	物事を自分で考え、自分の言葉で表現する姿勢がある。
	3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	意欲的に多様な人々と協働して学ぶ態度がある。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

大妻女子大学短期大学部

大妻女子大学短期大学部では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。

1. [知識および技能] (1)高校の学習で「国語」「英語」「数学」「地理・歴史」「理科」「家庭」など各学科が指定した科目において基礎学力および技能を身につけている。
(2)短期大学部の授業が理解できる一定以上の知識があり、入学後の修学に必要な技能を有している。
2. [思考力・判断力・表現力等] 常に問題意識を持って、自らテーマを見つけ物事を論理的に考える力、自分の考えを的確に相手に伝えることができる能力をそなえている。
3. [主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度] 多様な人々とコミュニケーションを図って、自立した将来を創り上げていく意欲を持ち、そのための課題に積極的に取り組むことができる。

以上のような入学者を選抜するために、筆記試験（小論文を含む）、面接、書類審査等を取り入れた多様な入試を実施します。

家政科	家政科では、卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力を備えた人を求めます。		
	家政専攻	1. 知識および技能	高校での学習で「国語」「英語」「数学」「地理・歴史」「理科」「家庭」など、入学後の修学に必要な、基礎知識と技能を有し、さらに、資格取得や課外活動など、高校時代に充実した日常生活を送ることができた人。
		2. 思考力・判断力・表現力等	物事を多面的・論理的に、考察と判断ができ、自分の考えを、他者に的確に表現し、伝えることのできるコミュニケーション能力を持ち、さらに、他者の考えを、柔軟に受け入れ、理解する、協調性を有している人。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	生活の基盤である衣、食、住、保育、健康などの学習の他、家政専攻での学習に深い関心があり、主体的・積極的に取り組む態度を有し、得られた知識と資格などの専門性を、将来の生活や就職、社会貢献に役立てる意欲のある人。
	生活総合ビジネス専攻	1. 知識および技能	(1)文章の読解・レポート作成などの「国語」の能力、基礎的な「数学」の能力、「英語」の基本能力がある。 (2)ビジネスを学ぶ上で必要とされる社会の出来事や仕組みに関する興味と一般的な知識がある。
		2. 思考力・判断力・表現力等	(1)物事を多面的かつ論理的に考えることができる。 (2)自分の考えを的確に表現し、伝えることができる。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	(1)ビジネスの世界で自分の能力を発揮することに強い関心があり、積極的に考えて行動できる、また生活人として企業人として自立した将来を真剣に考えることができる。 (2)主体性を持って他者とのコミュニケーションを図り、共働して学ぶ態度を有する。
	食物栄養専攻	1. 知識および技能	(1)専門科目を学ぶために必要な「化学」、「生物」、「家庭」の基礎的な内容を理解している。 (2)読解力や語学力の基礎となる「国語」を通して、聞く、話す、読む、書くという基礎的なコミュニケーション能力を身につけている。また、実務的な計算能力がある。
		2. 思考力・判断力・表現力等	健康や食生活に関する問題について、知識や情報を基に論理的に考察し、判断したり、行動したりすることができる。
		3. 主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	健康・食生活に対する強い関心を持ち、将来、食を通じて人々の健康に貢献したいという意欲がある。学修課題に積極的に取り組み、主体的に学ぶことができる。

※ディプロマ・ポリシー（卒業の認定に関する方針）、カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）は本学ホームページ（<https://www.otsuma.ac.jp/>）をご参照ください。

趣旨

近年、社会情勢の変化に伴い、社会人の学習の機会を一層拡大して創造性豊かな人材を育成することが求められています。このような要請に応えるために本入試により意欲的な社会人を積極的に受け入れることを目的とします。

入学者選抜の基本方針

高等学校（大学・短大を含む）等卒業後の社会人としての経歴などを斟酌し、各学科・専攻の教育方針に適合した人物であるか提出書類、小論文、面接等により志願者の能力・適性・学習意欲等を総合して評価する。

募集人員

学部・学科・専攻			募集人員
家政学部	被服学科		若干名
	食物学科	食物学専攻	
	児童学科	児童学専攻	
		児童教育専攻	
ライフデザイン学科			
文学部	日本文学科		若干名
	英語英文学科		
	コミュニケーション文化学科		
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	若干名
		環境情報学専攻	
		情報デザイン専攻	
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	若干名
		社会・臨床心理学専攻	
人間福祉学科			
比較文化学部	比較文化学科		若干名
短期大学部	家政科	家政専攻	若干名
		生活総合ビジネス専攻	
		食物栄養専攻	3名

※家政学部食物学科管理栄養士専攻は社会人入試の募集はありません。

※受験者の学力状況により合格者数が募集人員を満たさない場合があります。

出願要件

以下の各要件のいずれかに該当し、かつ令和5年10月31日現在で2年以上の社会人経験を有している女子。ただし、ここでいう社会人経験とは、職業経験（パート・アルバイト等非正規雇用を含む）、社会的活動（NPO、NGO、ボランティア活動等）の経験、主婦等の経験を指し、学校教育法上の学校、専修学校、各種学校および外国の教育機関での在学は含みません。

- 1 高等学校もしくは中等教育学校を卒業し、卒業後6年以上経過した者
- 2 通常の課程による12年の学校教育を修了し、修了後6年以上経過した者
- 3 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者で令和6年3月31日までに24歳に達している者

※ 日本国以外の国籍を有する者（「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格「永住者」もしくは「平和条約国籍離脱者等入管特例法」に定める「特別永住者」を除く）は、外国人留学生入試を受験してください。

選考日程

出願期間	試験日	合格発表	入学手続締切日
【郵送のみ】 令和5年 11月1日(水)) 11月8日(水) 必着	令和5年 11月18日(土) または 11月19日(日) 学科・専攻により異なります。	令和5年 12月1日(金) 15:00から	令和5年 12月7日(木)

時間割

令和5年11月18日(土)

学部・学科・専攻		集合時間	小論文	面接開始時間	試験場
家政学部	ライフデザイン学科	10:30	11:00～12:00	13:00	千代田 キャンパス
文学部	英語英文学科	12:30			
社会情報学部	社会情報学科	10:30	11:00～12:00		
比較文化学部	比較文化学科				

学部・学科・専攻		集合時間	小論文	面接開始時間	試験場
人間関係学部	人間関係学科	8:30	9:00～10:00	10:20	多摩 キャンパス
	社会学専攻 社会・臨床心理学専攻				
	人間福祉学科				

令和5年11月19日(日)

学部・学科・専攻		集合時間	小論文	面接開始時間	試験場	
家政学部	被服学科	10:30	11:00～12:00	13:00	千代田 キャンパス	
	食物学科					食物学専攻
	児童学科					児童学専攻 児童教育専攻
文学部	日本文学科 コミュニケーション文化学科					
短期大学部	家政科					
						家政専攻
						生活総合ビジネス専攻 食物栄養専攻

- ※1 学科・専攻によって試験日、集合時間等が異なりますので、注意してください。
- ※2 試験日が異なる学科・専攻であっても複数の学科・専攻に出願することはできません。
- ※3 面接の順番等によっては、面接開始まで時間がかかることがあります。
- ※4 志願者数によっては、試験開始時間（集合時間）に変更が生じることがあります。

選考方法

- 1 面接、出願書類及び小論文（文学部英語英文学科除く）を総合して合否を判定します。ただし、面接、小論文（該当学科のみ）のいずれかを受験しなかった場合、受験放棄とみなし、不合格とします。
- 2 面接は、複数の面接担当者で個人面接またはグループ面接を行います。面接では、志望理由、学科・専攻への適性、基礎学力などを見ます。

面接

学部・学科・専攻		口頭 試問	面接内容	
家政学部	被服学科	○	これまでの活動、将来展望、被服分野に関する知識の質問を含む	
	食物学科	食物学専攻	○	食への幅広い関心と知識、化学基礎、生物基礎への理解、コミュニケーション能力を問う
	児童学科	児童学専攻	○	教育・保育に関する諸問題についての質問を含む
		児童教育専攻	○	教育に関する諸問題についての質問を含む
	ライフデザイン学科	○	生活の諸問題や時事に関する質問を含む	
文学部	日本文学科	○	日本の文学、語学、文化、歴史についての知識等を問う	
	英語英文学科	○	英語の基礎的な知識・技能を問う質問を含む 面接の一部を英語で行う	
	コミュニケーション文化学科	○	現代の文化・社会に関する質問を含む	
社会情報学部	社会情報学科	社会生活情報学専攻	○	現代社会、経済、時事に関する質問を含む
		環境情報学専攻	○	環境に関する質問を含む
		情報デザイン専攻	○	情報とデザイン及び情報とシステムに関する質問を含む
人間関係学部	人間関係学科	社会学専攻	○	現代社会の諸問題に関する質問を含む
		社会・臨床心理学専攻	○	心理学への関心に関する質問を含む
	人間福祉学科	○	本学科で学ぶ動機、キャリア計画、日本の福祉の現状に関する知識及び考えについての質問を含む	
比較文化学部	比較文化学科	○	学びたい地域の歴史や文化に関する質問を含む	
短期大学部	家政科	家政専攻	○	衣・食・住生活、保育、環境、健康に関する質問を含む
		生活総合ビジネス専攻	○	基礎学力や現代社会・時事、社会人としての経験と志望動機の関係に関する質問を含む
		食物栄養専攻	○	専門に必要な基礎知識や食・栄養・健康に関する質問を含む

小論文

小論文は学科・専攻により文章読解論述型、資料分析型、テーマ型、理科論述型、設問解答型などの形式もしくはこれらの形式を複数組み合わせ出題されます。

出願手続

入学検定料	納入期間	出願期間（郵送必着）
35,000円	令和5年10月20日（金）～11月8日（水）	令和5年11月1日（水）～11月8日（水）

※出願締切に間に合うよう、余裕をもって納入手続をしてください。

1. 入学検定料の納入

入学検定料は金融機関またはコンビニエンスストアで納入できます。

[1. 金融機関での納入の場合]

- 電算入力票（A～C票）に必要な事項を記入し、そのまま切り離さずに、金融機関の窓口から電信扱いで振り込んでください。ゆうちょ銀行・郵便局、インターネット、ATMでの納入はできません。
- 振込後に金融機関からA、C票を受け取り、必ずその場で各票に「金融機関取扱店収納印」が押印されていることを確認してください。押印されていないものは無効です。振込領収書（C票）は各自で保管してください。

[2. コンビニエンスストアでの納入の場合]

- 電算入力票（A票）に必要な事項を記入してください。B、C票の記入は不要です。
- 「セブンイレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」の各店で納入できます。納入方法の詳細（10ページ）をよく読み、手続きを行ってください。
- コンビニエンスストアで発行される「入学検定料収納証明書」をA票に貼付し、提出してください。B、C票は提出不要です。

※コンビニエンスストアでの納入方法についての問い合わせ <https://e-shiharai.net/>

2. 出願方法

入学検定料を納入後、3. 出願書類で示した書類を簡易書留速達（市販の角形2号封筒（240×332mm））で提出してください。その際、表面に「社会人入試出願書類在中」と朱書きしてください。

3. 出願書類

(1)～(4)は所定用紙をダウンロードして使用してください。

改姓などにより、入学願書と出願要件を証明する書類の氏名が異なる場合は、同一人物のものであることを証明する書類〔旧姓と新姓の両方が記載されている住民票や戸籍抄本等。個人番号（マイナンバー）の記載がないもの〕を提出してください。

(1)入学願書	[所定用紙①]
(2)電算入力票（A～C票）	[所定用紙②]
(3)写真票（D票）	[所定用紙③]
(4)志望理由書	[所定用紙④]
(5)出願要件を証明する書類（該当するもの）	1. 高等学校等の卒業証明書（開封無効） 2. 高等学校卒業程度認定試験合格成績証明書 ※出願要件を証明する書類が1、2に該当しない場合、 広報・入試センター（千代田）にご連絡ください。

4. 出願書類 送付先

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地 大妻女子大学 広報・入試センター 入試グループ

出願上の注意事項

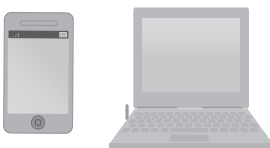
- 入学検定料未納または出願書類未提出の場合、出願受付できません。
- 出願締切日までに到着しなかった出願書類は受理しません。なお、出願期間前に到着した出願書類は、出願期間開始日まで本学にて保管します。
- 出願書類に不備がある場合は、受付できないことがありますので注意してください。また、出願書類等に関する本学からの連絡には、その指示に従ってください。
- 出願後の入試種別、学科・専攻の変更はできません。
- 出願書類に虚偽の記載内容があった場合は、受験を無効とし、入学を取り消すことがあります。
- 入学検定料および出願書類は、いかなる事情があっても返還しません。
- 疾病・負傷や障がい等のため、受験上および修学上、特別な配慮を希望する場合は、令和5年9月28日（木）までに、必ず広報・入試センター入試グループ（千代田）までご相談ください（tel.03-5275-0404）。また、それ以降に事故で負傷した方等についても、同様に配慮することがありますので、速やかに本学に申し出てください。

なお、入学後のカリキュラムの履修および各種プログラムへの参加が困難な場合がありますので、必要に応じて面談をさせていただくことがあります。受験上・修学上の配慮については、場合によってはご希望に添えないこともありますので、予めご了承ください。

大妻女子大学・大妻女子大学短期大学部 コンビニエンスストアでの入学検定料の納入方法

入学検定料はコンビニエンスストア「セブン-イレブン」「ローソン」「ミニストップ」「ファミリーマート」で24時間いつでも納入が可能です。


1 Webで事前申込み



画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得してください。

https://e-shiharai.net/

本学HPからもアクセスできます！



※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行わず、もう一度入力直して、新たな番号を取得してお支払いください。支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

2 コンビニでお支払い

- 入学検定料はATMでは振り込みできません。必ずレジでお支払いください。
- 店頭端末機の画面デザイン等は、予告なく変更される場合があります。
- 入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

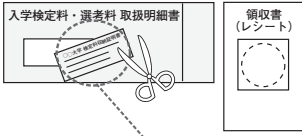
7-Eleven	LAWSON MINI STOP	FamilyMart
【払込票番号 (13ケタ)】	【お客様番号 (11ケタ)】 【確認番号 (4ケタ)】	【お客様番号 (11ケタ)】 【確認番号 (4ケタ)】
●レジにて 「インターネット支払い」と店員に伝え、印刷した【払込票】を渡すか、【払込票番号】を伝えてお支払いください。 マルチコピー機は使用しません	Loppiへ 各種サービスメニュー 各種代金・インターネット受付 (紫のボタン) 各種代金お支払い マルチペイメントサービス 【お客様番号】【確認番号】を入力	マルチコピー機へ 代金支払い 番号入力画面に進む 【お客様番号】【確認番号】を入力
お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」・「領収書」(レシート)を受け取ってください。	店頭端末機より出力される「申込券」(受付票)を持って、30分以内にレジでお支払いください。 お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」を受け取ってください。	お支払い後、必ず「入学検定料・選考料 取扱明細書」・「領収書」(レシート)を受け取ってください。

3 出願

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の「収納証明書」部分を切り取り、入学願書の所定欄に貼る。


●セブン-イレブン ●ファミリーマート

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「領収書 (レシート)」は保管。

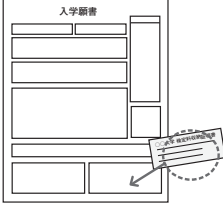


●ローソン ●ミニストップ

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の収納証明書部分を切り取る。
「取扱明細書兼領収書」は保管。



「収納証明書」を入学願書の所定の欄に貼付。封筒に必要書類を入れ、郵便局窓口へ。



※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載されている糊は使用しないでください。「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。

■入学検定料の納入期間

社会人入試 令和5年10月20日(金)～11月 8日(水)

■注意事項

- 納入期間をご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもって手続きをしてください。
- 支払最終日の「Webサイトでの申込み」は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。
- 一度お支払いされた入学検定料は返金できません。
- 取扱いコンビニ、支払い方法は変更になることがあります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

「コンビニでの入学検定料納入」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトでご確認ください。

https://e-shiharai.net/

コンビニエンスストアでの入学検定料の納入方法

電算入力票 (A ~ C 票) の記入例と注意点

電算入力票 (A ~ C 票) の記入例と注意点 / 記入上の注意事項

記入上の注意事項 2

年・月・日が1ケタの場合、左マスに0を記入し、2ケタとしてください。

受験票、合格通知書、手続書類を受け取る住所を記入してください。住所が長く1行目に入りきれない場合は2行目にマンション名等から記入してください。

確実に連絡がとれる電話番号を記入してください。

・最終学歴が出身高等学校等と異なる場合(大学卒業者など)でも、出身高等学校等について記入してください。
・別データ「高等学校等コード表」(本学ホームページに掲載)により、該当する出身高校等のコード番号を記入してください。

卒業年月

- 以下の該当者は5に○をつけてください。
 - 高等学校もしくは中等教育学校を平成30年3月以前に卒業した者
 - 高等専門学校第3学年を平成30年3月以前に修了した者
 ※年度の途中の卒業者は、同年度の3月卒業者と同一年度の卒業者扱いとなります。
 <例>平成29年6月卒業者→平成30年3月卒業
- 以下の該当者は6に○をつけてください。
 - 高等学校卒業程度認定試験合格者/大学入学資格検定合格者/外国の高等学校修了者/文部科学大臣の指定した者/在外教育施設の課程修了者/専修学校の高等課程卒業生

課程・学科別

- 「卒業年月」が5に該当する方は「課程」は1~3のいずれか、「学科別」は1~7のいずれかに○をつけてください。
- 高等専門学校第3学年修了者および「卒業年月」が6に該当する方は「課程」は4、「学科別」は8に○をつけてください。

濁点1マス

人間関係学部人間福祉学科を志願する場合

所定用紙②

A 票 令和6年度 大妻女子大学 大妻女子大学短期大学部 電算入力票 [社会人入試]

志願者氏名	姓 オオツマ 名 ジュンコ	姓 大妻 名 じゅん子	志望学科等 (ア〜ツのうち1つに○をつけてください。)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>家政学部</td><td>被服学科</td><td>ア</td><td>社会生活情報学専攻</td><td>ケ</td></tr> <tr><td></td><td>食物学専攻</td><td>イ</td><td>環境情報学専攻</td><td>コ</td></tr> <tr><td></td><td>児童学専攻</td><td>ウ</td><td>情報デザイン専攻</td><td>サ</td></tr> <tr><td></td><td>児童教育専攻</td><td>エ</td><td>社会学専攻</td><td>シ</td></tr> <tr><td></td><td>ライフデザイン学科</td><td>オ</td><td>社会・臨床心理学専攻</td><td>ス</td></tr> <tr><td>文学部</td><td>日本文学科</td><td>カ</td><td>人間福祉学科</td><td>セ</td></tr> <tr><td></td><td>英語英文学科</td><td>キ</td><td>比較文化学科</td><td>ソ</td></tr> <tr><td></td><td>コミュニケーション文化学科</td><td>ク</td><td></td><td></td></tr> </table>	家政学部	被服学科	ア	社会生活情報学専攻	ケ		食物学専攻	イ	環境情報学専攻	コ		児童学専攻	ウ	情報デザイン専攻	サ		児童教育専攻	エ	社会学専攻	シ		ライフデザイン学科	オ	社会・臨床心理学専攻	ス	文学部	日本文学科	カ	人間福祉学科	セ		英語英文学科	キ	比較文化学科	ソ		コミュニケーション文化学科	ク																																																										
家政学部	被服学科	ア	社会生活情報学専攻	ケ																																																																																																
	食物学専攻	イ	環境情報学専攻	コ																																																																																																
	児童学専攻	ウ	情報デザイン専攻	サ																																																																																																
	児童教育専攻	エ	社会学専攻	シ																																																																																																
	ライフデザイン学科	オ	社会・臨床心理学専攻	ス																																																																																																
文学部	日本文学科	カ	人間福祉学科	セ																																																																																																
	英語英文学科	キ	比較文化学科	ソ																																																																																																
	コミュニケーション文化学科	ク																																																																																																		
生年月日	期: S 年: 07 月: 70 日: 3	期: 平成 年: 07 月: 70 日: 3																																																																																																		
郵便番号	〒 102-8357	〒 102-8357																																																																																																		
住所	東京都千代田区若葉町122 新本館マンション809号室																																																																																																			
電話番号	03-0000-XXXX																																																																																																			
緊急連絡先(携帯電話可)	090-0000-XXXX																																																																																																			
E-mail	XXXXX@XXXXXXX																																																																																																			
出身学校	東京都立大妻学院高等学校																																																																																																			
課程	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	00

B 票 令和6年度 大妻女子大学 大妻女子大学短期大学部 社会人入試

入学検定料 振込依頼書

振込先	三井住友銀行 麹町支店
振込金額	¥35,000
口座種別	普通
口座番号	9938
受取人名	学校法人 大妻学院

志望学科 専攻番号 **4 3**

志願者氏名 **オオツマ ジュンコ**

住所 **(〒102-8357) 東京都千代田区若葉町122 新本館マンション809号室**

電話番号 **(03) 0000-XXXX**

振込期間: 令和5年10月20日(金)~11月8日(水)

C 票 令和6年度 大妻女子大学 大妻女子大学短期大学部 社会人入試

入学検定料 振込依頼書 (本人控)

振込先	三井住友銀行 麹町支店
振込金額	¥35,000
口座種別	普通
口座番号	9938
受取人名	学校法人 大妻学院
志願者氏名	大妻 じゅん子

上記の金額を受領しました。
(注意) いったん納入された入学検定料はいかなる事情があっても返還しません。

記入上の注意事項

- 黒ボールペンで記入し、書き損じた場合でも修正液は使用しないでください。書き損じた場合は、間違えた箇所にも二重線を引き、訂正印を押印のうえ、余白に正しい内容を記入し、訂正してください。
- 氏名は戸籍に記載されているものを記入してください。電算処理において表記できない文字は、受験票、合格通知書等で文字が置き換えられるか、カタカナ等で表記されることがあります。
 <例>吉→吉、土→土、角→角、祐→祐、槁→槁
 外国籍の方が通称名を用いる場合は、住民票に記載されている通称名に限ります。
- 志望学科等は正確に選択してください。学科・専攻の名称、選択した学科・専攻で取得できる資格等をよく確認してください。
 <間違えやすい例>
 ・短期大学部家政科**家政**専攻 と 短期大学部家政科**食物栄養**専攻

受験票の交付

1. 受験票は令和5年11月11日（土）頃に速達で送付します（手元に届くのは多くの場合、翌日以降となります）。令和5年11月15日（水）午前中までに届かない場合、広報・入試センター（千代田）にお問い合わせください。
2. 受験票が届いたら、記載事項を確認し、試験当日に必ず持参してください。

試験当日の注意事項

1. 受験票

必ず持参してください。万一受験票を忘れた場合は、係員に申し出て再発行を受けてください。

2. 集合時間

千代田キャンパス、多摩キャンパスともに、午前8時に試験場を開場します。試験開始30分前までに所定の控室・試験室に入室し、試験監督者の指示に従ってください。小論文（文学部英語英文学科は除く）、面接のいずれかを未受験の場合は、受験放棄とみなし、不合格とします。

交通状況を考慮して早めに行動してください。

3. 遅刻・欠席

遅刻した場合は、係員の指示に従ってください。小論文試験は、試験開始から30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長はしません。

公共交通機関の事故等により試験開始時刻に間に合わない場合や、やむを得ず欠席する場合は、集合時間までに本学下記連絡先まで必ず連絡してください。なお、災害や事故などにより試験場付近の公共交通機関に大幅な遅延が発生した場合などは、試験時間を繰り下げることがあります。

連絡先：千代田キャンパス 広報・入試センター tel. 03-5275-0404

多摩キャンパス 教育支援・学事グループ tel. 042-372-9970

4. 入退出

集合時間（試験開始30分前）から試験終了時刻までは、発病またはトイレ等、やむを得ない場合以外の試験室からの退室は認めません。

5. 持ち物

(1) 小論文試験の解答には必ず**HBの黒鉛筆**または**シャープペンシル**、**消しゴム**を使用してください。

その他、試験時間中に使用できる用具、使用できない用具、使用に許可が必要な用具は下記のとおりです。

使用できる用具	鉛筆削り（電動式不可）、鉛筆キャップ、時計（時刻だけを表示するものに限る。アラーム機能は、入室前に設定を解除すること。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋または箱から取り出したもの）、目薬
使用できない用具	定規、下敷き、電卓、耳せん、辞書、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末、タブレット端末、イヤホン、音楽プレーヤー等の電子機器類
試験監督者の許可が必要な用具	使い捨てカイロ、ひざかけ（上着等の代用含む）

(2) 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験場に入る前にアラーム設定を解除し、電源を切ってカバン等にしまってください。試験時間中に時計として使用することはできません。試験室内に時計はありませんので、必要な方は腕時計（時刻だけを表示するものに限る）を持参してください。

(3) 千代田キャンパスで試験を実施する家政学部、文学部（英語英文学科は除く）、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部の受験者は、小論文が午前、面接が午後を開始するため、各自で昼食を準備してください。

6. 不正行為

以下の行為は不正行為となることがあります。

- ① 試験場において監督者の指示に従わないこと。
- ② カンニングをすること。
- ③ 使用を認められていない用具をカバン等にしまわず、身に付けていたり手に持っていること。
- ④ 試験時間中に携帯電話等の通信機器を身に付けたり、操作したりすること。
- ⑤ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
- ⑥ 漢字・英文字・地図等がプリントされている上着等を持ち込むこと。
- ⑦ その他、試験の公平性を損なう行為をすること。

イヤホンについては耳に装着していれば使用しているものとして不正行為となります。不正行為の疑いがある場合、試験監督者による事情聴取、別室受験、退出等を求めることもあります。不正行為となった場合、それ以降の受験はできません。また、すでに受験した試験もすべて無効となり、入学資格を失います。

7. その他

(1) 本学近辺で合否連絡の受付・勧誘・印刷物の配布を行う者があっても、本学とは一切関係がありません。発生した事故については、本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

(2) 生活騒音（自動車、風雨、空調音、くしゃみ等）が発生した場合でも、原則として特別な措置は行いません。


試験場

1. 家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部は千代田キャンパス、人間関係学部は多摩キャンパスで実施します。試験場を間違えた場合は、受験することができません。事前に募集要項・受験票で試験場をよく確認してください。千代田キャンパスの試験場の建物名は試験日の2日前に本学ホームページ（トップページ＞TOPICS 大妻女子大学からのお知らせ）で発表します。
2. 駐車場・駐輪場はありません。公共の交通機関をご利用ください。あらかじめ試験場への経路、所要時間等を確認し、当日は早めに到着するよう心がけてください。
3. 上履きは不要です。
4. 試験場（構内）の下見について
キャンパス見学可能日は、本学ホームページの「入試・入学」のページに随時掲載予定です。なお、日曜日・祝日、入学試験の前日・当日、在学生の補講・試験期間、オープンキャンパス前日は見学できません。

合格発表

1. 発表期間
令和5年12月1日（金）15:00～12月7日（木）15:00
2. 発表の方法
 - (1) Webを利用した合否照会システムにより行います。
 - (2) 合格者には、令和5年12月1日（金）に合格通知書および入学手続き書類を郵送します。手元に届くのは多くの場合、合格発表日の翌日以降となります。
3. 注意事項
 - (1) 合格通知書の未着、合否照会システムの誤操作等を理由とした入学手続き期間の延長は認めません。
 - (2) 電話等による合否結果の問い合わせには応じません。
 - (3) 発表期間以外は利用することができません。

Webでの確認方法

- ① <https://www.go-pass.net/mche/otsuma/>にアクセスする。
 ※QRコード対応機種で利用できます。
- ② 「個人情報の取扱いについて」の表示内容を確認し、「同意して利用する」をクリックする。
- ③ 受験番号9けた（半角）と、誕生日4けた（半角）を入力する。
※下図はイメージ
※受験番号はハイフンを除いた9けた（半角）
※誕生日が2月8日の場合は『0208』

受験番号・誕生日を入力してください。

受験番号（半角9けた）

○○○○○○○○○

誕生日（半角4けた）

○○○○

- ④ [合格] [不合格]

おめでとうございます。
合格です。合格通知書を郵送しました。

残念ながら不合格です。

[欠席・棄権]

欠席または試験の一部を受験していないため、残念ながら不合格です。

利用できる機器等について

1. インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン等の携帯端末で確認ができます。
2. パソコンのブラウザの設定によっては、画像のずれ、文字化け等が発生する場合があります。その場合はブラウザを調整してください。
3. パソコンの性能やインターネットへの接続方法等で、表示に時間がかかる場合があります。

入学手続

納入した入学金および入学手続書類は、いかなる事情があっても返還しません。

詳細は、合格者に交付する「入学手続の手引」で確認してください。

入学手続時納入金に関するご質問は、広報・入試センター入試グループ（千代田）へお問い合わせください。

1. 入学手続時納入金

(1) 納入期限

令和5年12月7日（木）

納入期限までに本学の指定口座に送金されていない場合は、棄権とみなします。

※納入期限日に振り込む場合は、金融機関から本学への送金が当日扱いになるか金融機関の窓口で確認してから手続きをしてください。

(2) 納入方法

入学手続締切日までに金融機関の窓口から**電信扱い**で振り込んでください。

ゆうちょ銀行・郵便局、インターネット、ATMからの振り込みはできません。

(3) 納入金額

入学する学科・専攻により入学手続時納入金合計が異なります。15ページの表で確認してください。

2. 入学手続書類

「入学手続の手引」に従って、令和5年12月7日（木）〔郵送・当日消印有効〕までに**簡易書留速達**で郵送してください。

3. 入学辞退・納入金返還

入学手続時納入金を納入した方が、やむを得ない事情により入学を辞退する場合、本学所定の手続きを令和6年3月31日（日）までに行えば、入学金以外の入学手続時納入金を返還します。

入学手続時納入金・学費等

入学する学部・学科・専攻で入学手続時納入金額が異なります。以下の表で確認してください。

大学学部（令和6年度）

（単位：円）

区分	学部・学科 被服学科	家政学部			文学部 日本文学科 英語英文学科 コミュニケーション 文化学科	社会情報学部 社会情報学科	人間関係学部 人間福祉学科	比較文化学部 比較文化学科	備考
		食物学科		児童学科 ライフデザイン学科					
		食物学専攻	管理栄養士専攻						
入 学 金	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	250,000	入学時のみ
授 業 料	387,500	387,500	387,500	382,500	372,500	377,500	372,500	372,500	前期分 (後期分は前期と同額)
教育充実費	215,000	215,000	215,000	210,000	210,000	215,000	210,000	210,000	前期分 (後期分は前期と同額)
栄養士専攻費		7,750	14,000						前期分 (後期分は前期と同額)
学生教育研究災害 傷害保険料	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	2,650	入学時のみ
千鳥会費	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	10,800	年額
学友会費	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	年額
大妻コタカ記念会費	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金 計	887,750	895,500	901,750	877,750	867,750	877,750	867,750	867,750	

〈参考〉

1年次後期分	602,500	610,250	616,500	592,500	582,500	592,500	582,500	582,500	例年9月に納入
--------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

2年次の納入金

授業料および教育充実費	1,225,000	1,225,000	1,225,000	1,205,000	1,185,000	1,205,000	1,185,000	1,185,000	年額
その他の納入金	12,600	28,100	40,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	毎年度若干の変動の可能性あり

3年次の納入金

授業料および教育充実費	1,245,000	1,245,000	1,245,000	1,225,000	1,205,000	1,225,000	1,205,000	1,205,000	年額
その他の納入金	12,600	28,100	40,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	毎年度若干の変動の可能性あり

4年次の納入金

授業料および教育充実費	1,265,000	1,265,000	1,265,000	1,245,000	1,225,000	1,245,000	1,225,000	1,225,000	年額
その他の納入金	12,600	28,100	40,600	12,600	12,600	12,600	12,600	12,600	毎年度若干の変動の可能性あり

短期大学部（令和6年度）

（単位：円）

区分	学部・学科	短期大学部			備考
		家政科			
		家政専攻	生活総合 ビジネス専攻	食物栄養専攻	
入 学 金		250,000	250,000	250,000	入学時のみ
授 業 料		362,500	357,500	362,500	前期分 (後期分は前期と同額)
教育充実費		215,000	210,000	215,000	前期分 (後期分は前期と同額)
栄養士専攻費				14,000	前期分 (後期分は前期と同額)
学生教育研究災害 傷害保険料		1,400	1,400	1,400	入学時のみ
千鳥会費		10,800	10,800	10,800	年額
学友会費		1,800	1,800	1,800	年額
大妻コタカ記念会費		20,000	20,000	20,000	入学時のみ
入学手続時納入金 計		861,500	851,500	875,500	

〈参考〉

1年次後期分	577,500	567,500	591,500	例年9月に納入
--------	---------	---------	---------	---------

2年次の納入金

授業料および教育充実費	1,175,000	1,155,000	1,175,000	年額
その他の納入金	12,600	12,600	40,600	毎年度若干の変動の可能性あり

（注）表中以外に以下の点にご注意ください。

- ア 実験実習の材料費およびオリエンテーション旅行費等は、実費を納入していただきます。
- イ 諸資格取得を希望する方は、入学後の所定の時期にそれぞれの課程履修費を納入していただきます。
- ウ 大妻コタカ記念会（同窓会）会費は、入学時から10年間分の会費です。

家政学部食物学科食物学専攻・短期大学部家政科食物栄養専攻を受験する方へ

大妻女子大学家政学部食物学科食物学専攻および短期大学部家政科食物栄養専攻は、厚生労働省から栄養士養成施設としての指定を受けています。これらの専攻に入学した学生はいずれの専攻においても、所定の科目の単位を修得することにより卒業を要件として、所定の手続きを経て栄養士免許証を取得することができます。

1. 家政学部食物学科食物学専攻

栄養士資格取得科目等

食物学科を卒業するためには、大学で授業を受け、単位を修得することが必要ですが、食物学専攻には「栄養士法」に基づいて定められた多くの実験・実習科目があります。実習には学内で行うもの、学外の病院、事業所、保健所、会社などの給食施設で行うものがあります。

以下、参考として令和5年度入学生を対象に開講される実験・実習科目名と配当年次・単位数を表記します。

(1) 学内で行う実験・実習科目

〔食物学専攻専門科目〕		
生活環境学実験	1年次	1単位
人体構造機能論実験	1年次	1単位
食品化学実験	2年次	1単位
食品学実験	2年次	1単位
食安全学実験	2年次	1単位
栄養化学実験	2年次	1単位
臨床栄養学実習	3年次	1単位
応用栄養学実習	3年次	1単位
食事設計論実習	2年次	1単位
栄養教育論実習Ⅰ	2年次	1単位
栄養教育論実習Ⅱ	3年次	1単位
給食管理実習Ⅰ	3年次	1単位
給食管理実習Ⅱ	3年次	1単位
基礎調理学実習	1年次	1単位
調理学実習	1年次	1単位

★実験・実習科目は45時間の授業をもって1単位となります。

(2) 学外で行う実習

校外実習 3・4年次 1単位

栄養士課程においては、給食業務を行うために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として具備すべき知識および技能を修得することを目的として「給食の運営」について、1週間1単位以上を校外実習（物を対象とした業務）として必須としています。実習施設は、小・中学校、会社・事業所、社会福祉施設、自衛隊などです。

2. 短期大学部家政科食物栄養専攻

食物栄養専攻では、「栄養士法」に基づいて定められた多くの実験・実習科目があります。実習には学内で行うものと、学外の会社・事業所、保育所、病院、老人福祉施設などの給食施設で行うものがあります。学外で行う校外実習（45時間で1単位）は、給食業務を行うために必要な給食サービス提供に関し、栄養士として備えるべき知識および技能を修得することを目的としており、栄養士免許証取得のために必須です。

入学予定者への課題・プレイスメントテストについて

入学予定者に、入学までの期間を利用して各学科・専攻からの課題に取り組んでもらうことにしています。

課題の内容については、合格者に交付する「入学手続の手引」で連絡します（本学ホームページにも掲載します）。入学後の学習に役立ててください。

また、学部によっては、入学前または入学後に、英語のプレイスメントテストを実施します。

入学後について

一般選抜などで入学する学生と同じく、1年次に入学し、入学後の履修方法も同様です。途中年次からの入学、社会人入試入学者を対象とした夜間や休日の講義の別途開講などはありません。

他の大学等で修得した単位の認定は、一定の範囲内で行います。

履修地

千代田キャンパス

家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部

〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地

多摩キャンパス

人間関係学部

〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1

災害により被災した入学志願者に対する特別措置について

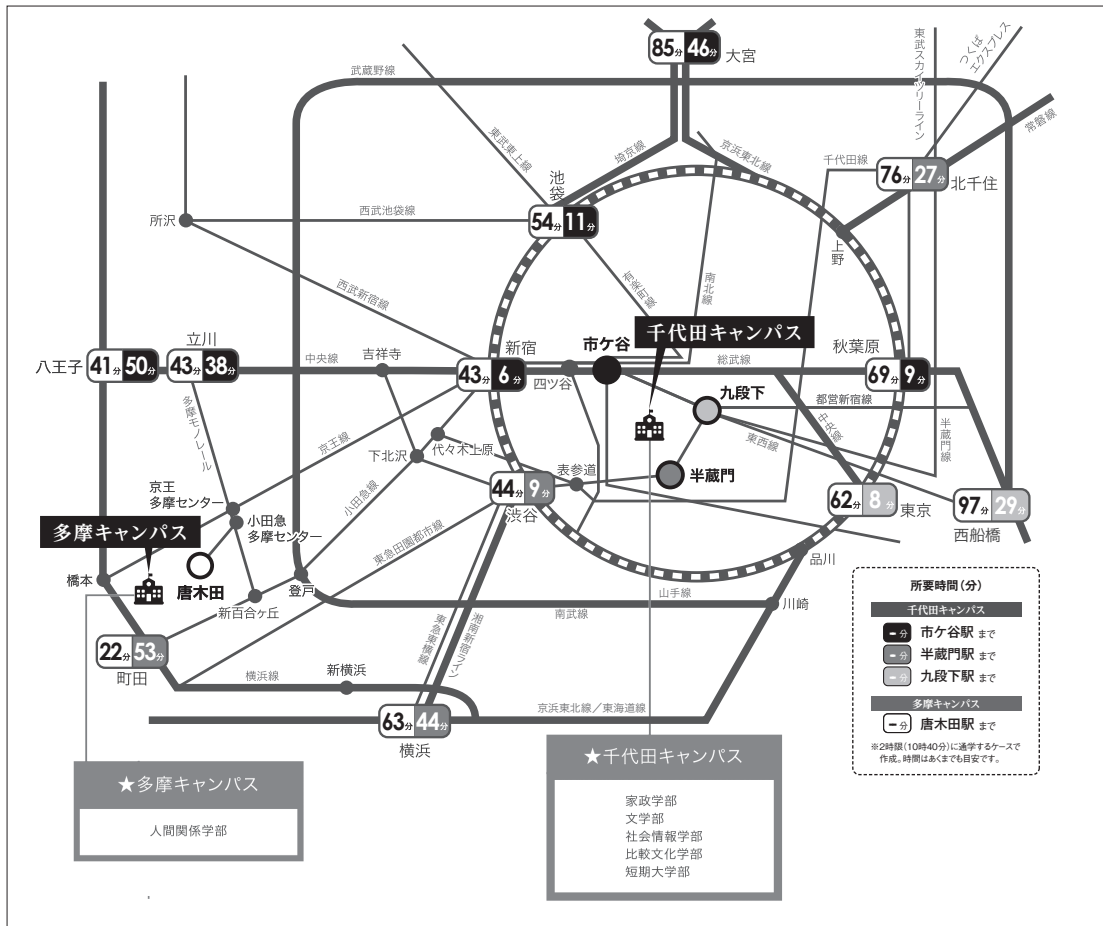
本学では、大規模自然災害で被災した入学志願者に対して、入学検定料や入学金の免除措置を講じています。

各入学試験日から遡り、1年前までの期間に生じた災害で、本学が指定する地域に居住していた方が対象になります。

対象となる災害・地域や申請方法、適用条件等は本学ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

ご不明な点については、広報・入試センター（千代田）までお問い合わせください。

キャンパス配置図



キャンパス配置図／受験時の宿泊案内

受験時の宿泊案内

参考として以下の宿泊施設を紹介します。予約をする際は、直接お申し込みください。

〈千代田キャンパス〉

〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25

アルカディア市ヶ谷(私学会館) tel. 03-3261-9921(代)

キャンパス案内（試験場）

千代田キャンパス 家政学部、文学部、社会情報学部、比較文化学部、短期大学部

試験場の確認
試験日は試験日の2日前に本学HPで発表します。

【交通案内】

- △J R 中央・総武線 (各駅停車) 市ヶ谷駅下車 徒歩10分
- △地下鉄 東京メトロ有楽町線 市ヶ谷駅下車 徒歩7分 (A3出口)
- 東京メトロ南北線 都営新宿線 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅下車 徒歩5分 (5番出口)
- 東京メトロ東西線 都営新宿線 九段下駅下車 徒歩12分 (2番出口)

① 大学校舎A棟～D棟（試験場）
 ② 本館E棟（試験場）
 (1階：広報・入試センター入試グループ)
 ③ 本館F棟（試験場）
 (G階：広報・入試センター広報・募集グループ)
 ④ 大学校舎G棟
 ⑤ 大学校舎H棟
 ⑥ 大学校舎別館（J棟）
 ⑦ 大学校舎K棟
 ⑧ 図書館棟・大妻女子大学博物館
 ⑨ 大妻中学・高等学校校舎
 ⑩ 大妻コタカ記念会館
 (一般財団法人大妻コタカ記念会)

キャンパス案内（試験場）／問い合わせ先

多摩キャンパス 人間関係学部

試験場の確認
試験日当日に掲示をしますので集合場所を確認してください。

【交通案内】
△小田急多摩線 唐木田駅下車 徒歩5分

① 1号館
 ② 2号館（学生会館）
 ③ 3号館
 ④ 4号館（図書館棟）（1階：教育支援・学事グループ）
 ⑤ 5号館（体育館棟）
 ⑥ 6号館
 ⑦ 7号館
 ⑧ 大妻多摩中学・高等学校校舎

問い合わせ先			
受付時間		千代田：平日 8:30～16:40 土曜日 8:30～13:10	多摩：平日 8:50～17:00 土曜日 8:50～13:30
入試全般	広報・入試センター（千代田） 教育支援・学事グループ（多摩）	03-5275-0404 042-372-9970	
授業内容等	家政学部 文学部 社会情報学部 比較文化学部 短期大学部	教育支援グループ（千代田）	03-5275-6061
	人間関係学部	教育支援・学事グループ（多摩）	042-372-9988
奨学金等	学生支援グループ（千代田）	03-5275-6071	
授業料等	財務グループ（千代田）	03-5275-6031	

千代田キャンパス 〒102-8357 東京都千代田区三番町12番地
 多摩キャンパス 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2丁目7番地1